

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 新規泌尿器科癌易罹患性遺伝子バリエーションの同定
	●研究の対象 2013年から2017年の期間に東北大学東北メディカル・メガバンク機構（ToMMo）と岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構（IMM）の地域住民コホート調査・三世代コホート調査（両者合わせてTMM計画と以下記します）に登録された方および、2007年11月から2025年12月の期間に浜松医科大学（本学）の研究14-076「生活習慣と泌尿器科疾患の遺伝環境表現型相関」に登録された方。今回の研究での対象者数は、前者については、分譲可能最大人数が5万人以上、後者については約600人である。
	●研究の目的 泌尿器科癌へのなりやすさを決める遺伝的因子は未だ十分に分かっていません。泌尿器科癌の患者さんと非癌者の方の間で遺伝子バリエーションの頻度を統計学的に調べることでその因子を明らかにすることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2031年4月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
●他の機関に提供する場合には、その方法 TMM計画のデータに関しては、データを保存したUSBメモリを鍵付きジュラルミンケース（輸送ボックス）に入れて宅急便で厳重に送付されます。	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	対象者に付与された ID 対応表は提供されないため、研究代表者および研究分担者が個人を特定することはできません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 遺伝子型データ（これまでの研究で抽出された候補塩基バリエーションに限り、これを）を用います。 他、必要に応じて、年齢、性別などの研究対象者背景の情報や、臨床検査、病理学的検査の情報などを用います。
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 新村和也 情報提供元機関：国立大学法人東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 張替秀郎
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》	本学の 14-076 研究での情報について： あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。 TMM 計画での情報について： 研究代表者および研究分担者は特定の個人を照会することはできません。提供の停止に関しては TMM 計画の方で受け付けています。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 腫瘍病理学講座</p> <p>担当者： 新村和也</p> <p>TEL： 053-435-2220</p> <p>E-mail： kzshinmu@hama-med.ac.jp</p>